

# Economic Indicators

発表日：2020年10月12日(月)

## 企業物価指数(2020年9月)

～国内企業物価は4か月ぶりに下落に転じる、先行きは横ばい圏での推移に～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

エコノミスト 奥脇 健史 (TEL:03-5221-4524)

|      |     | 国内企業物価 |      |      |                | 最終消費財<br>(国内品) |      | 国内企業物価<br>(連鎖指数) |      | 輸出物価<br>(円ベース) |      | 輸入物価<br>(円ベース) |       |
|------|-----|--------|------|------|----------------|----------------|------|------------------|------|----------------|------|----------------|-------|
|      |     | 前期比    | 前期比※ | 前年比  | 前年比<br>(消費税除く) | 前期比            | 前年比  | 前期比              | 前年比  | 前期比            | 前年比  | 前期比            | 前年比   |
| 2019 | 9月  | 0.0    | 0.0  | ▲1.1 | ▲1.1           | 0.1            | ▲0.8 | 0.0              | ▲0.9 | 0.0            | ▲6.2 | ▲0.8           | ▲9.7  |
|      | 10月 | 1.1    | 1.4  | ▲0.4 | ▲1.9           | ▲0.5           | ▲2.0 | 1.2              | ▲0.1 | 0.3            | ▲6.3 | 0.4            | ▲10.8 |
|      | 11月 | 0.1    | 0.1  | 0.1  | ▲1.4           | 0.1            | ▲1.2 | 0.1              | 0.3  | 0.3            | ▲6.0 | 0.2            | ▲11.3 |
|      | 12月 | 0.2    | 0.2  | 0.9  | ▲0.7           | 0.4            | 0.1  | 0.1              | 0.9  | 0.0            | ▲4.4 | 1.1            | ▲6.6  |
| 2020 | 1月  | 0.0    | 0.0  | 1.5  | 0.0            | ▲0.2           | 0.5  | 0.1              | 1.5  | 0.4            | ▲1.4 | 0.5            | ▲0.8  |
|      | 2月  | ▲0.4   | ▲0.4 | 0.7  | ▲0.9           | ▲0.4           | ▲0.3 | ▲0.4             | 0.8  | 0.1            | ▲2.2 | 0.1            | ▲1.8  |
|      | 3月  | ▲0.9   | ▲0.9 | ▲0.5 | ▲2.0           | ▲0.9           | ▲1.5 | ▲0.8             | ▲0.3 | ▲2.3           | ▲5.1 | ▲4.8           | ▲7.8  |
|      | 4月  | ▲1.6   | ▲1.6 | ▲2.5 | ▲3.9           | ▲1.5           | ▲3.7 | ▲1.5             | ▲2.1 | ▲1.0           | ▲6.5 | ▲5.9           | ▲13.5 |
|      | 5月  | ▲0.5   | ▲0.5 | ▲2.8 | ▲4.2           | ▲0.5           | ▲4.2 | ▲0.4             | ▲2.4 | ▲1.3           | ▲6.5 | ▲5.9           | ▲18.2 |
|      | 6月  | 0.7    | 0.7  | ▲1.6 | ▲3.2           | 0.8            | ▲2.9 | 0.5              | ▲1.5 | 0.8            | ▲4.1 | 0.8            | ▲15.9 |
|      | 7月  | 0.6    | 0.3  | ▲0.9 | ▲2.5           | 0.4            | ▲2.5 | 0.5              | ▲0.9 | 0.7            | ▲3.2 | 2.0            | ▲12.6 |
|      | 8月  | 0.1    | 0.1  | ▲0.6 | ▲2.2           | 0.4            | ▲1.8 | 0.1              | ▲0.5 | 0.3            | ▲1.6 | 1.1            | ▲11.0 |
|      | 9月  | ▲0.2   | ▲0.1 | ▲0.8 | ▲2.3           | ▲0.1           | ▲2.0 | ▲0.1             | ▲0.6 | 0.1            | ▲1.5 | 0.2            | ▲10.1 |

(出所) 日本銀行「企業物価指数」

※は夏季電力料金調整後の値。

### ○ 国内企業物価は前月比で4か月ぶりに下落、持ち直しは一服

9月の国内企業物価は前月比▲0.2%（コンセンサス：同0.0%、レンジ：同▲0.2%～+0.2%）、前年比▲0.8%（コンセンサス：同▲0.5%、レンジ：同▲0.8%～▲0.3%）と、コンセンサスを下回る結果となった。また、消費税を除いた場合でみると前年比▲2.3%となった。

前月比で内訳をみると、世界経済の持ち直しによる需要の回復から、スクラップ類が前月比+5.6%（寄与度：+0.03%pt）、非鉄金属が同+0.9%（同：+0.02%pt）と上昇が続いた。8月までの持ち直しの主因となっていた石油・石炭製品については、同+0.1%と小幅な上昇にとどまった。一方、過去の原油価格の低迷の影響による燃料費の低下を受け、電力・都市ガス・水道が同▲1.4%（同：▲0.09%pt）と下落に寄与している。また、農林水産物（前月比：▲0.6%、寄与度：▲0.02%pt）、金属製品（同▲0.4%、同：▲0.02%pt）などが下落した。9月の国内企業物価は、原油価格の持ち直しが一服し、過去の原油価格の低迷が電力代に反映されたことなどから、前月比で4か月ぶりに下落に転じた。先行きについても、横ばい圏での推移が続くと予想している。

輸入物価指数は契約通貨ベースでは前月比+0.4%（前年比▲9.6%）、円ベースでは同+0.2%（同▲10.1%）となった。契約通貨ベースで内訳をみると、金属・同製品が同+2.3%（同：+0.27%pt）、石油・石炭・天然ガスが同+0.6%（寄与度：+0.15%pt）と上昇に寄与した。9月も引き続き契約通貨ベース、円ベースともに前月比で上昇、前年比での下げ幅を縮小させた。もっとも、上昇のペースについては、8月から鈍化した。先行きについても、商品市況の上昇に一服感がでていることから、輸入物価の持ち直しは一服し、減少に転じる可能性もあるだろう。

## ○ 需要段階別・用途別指数は持ち直しが一服

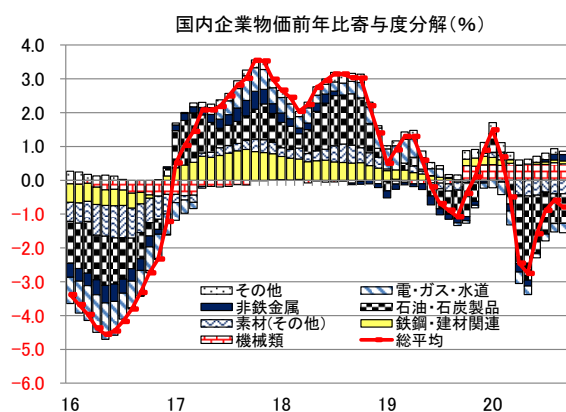
需要段階別・用途別指数（国内品＋輸入品）をみると、素原材料は前月比＋0.2%（前年比▲17.9%）、中間財は同0.0%（同▲3.2%）、最終財は同▲0.1%（同▲1.7%）となった。また、消費者物価との関連の深い消費財の国内品は同▲0.1%（同▲2.0%）となった。原油価格を中心とした商品市況の持ち直しの一服により、素原材料の上昇は鈍化、最終財については減少に転じている。先行きについても、商品市況の持ち直しに一服感が出ていることから、持ち直しは限定的なものにとどまるだろう。

## ○ 国内企業物価の持ち直しは一服、先行きも横ばい圏での推移に

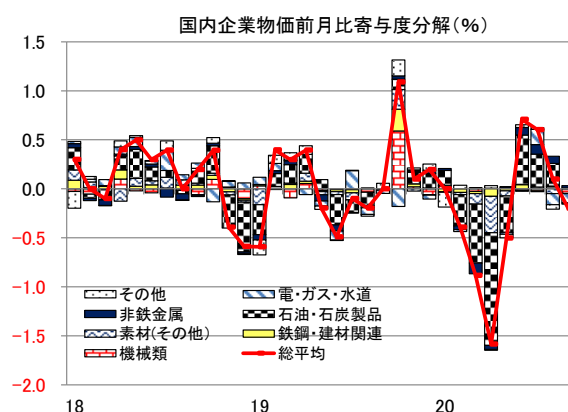
9月の国内企業物価は、4か月ぶりに前月比で下落した。過去の原油価格下落の影響が電力代などに反映されたことや商品市況の持ち直しに一服感が出ていることが主因である。

10月については、7月から適用された夏季電力料金が終了し、昨年10月の消費税増税の影響が一巡する。そのため、10月の国内企業物価は前月比で▲0.3%pt程度、前年比で▲1.5%pt程度押し下げられるとみられる。もっとも、それらの影響を除けば、9月から横ばい程度での推移となるだろう。

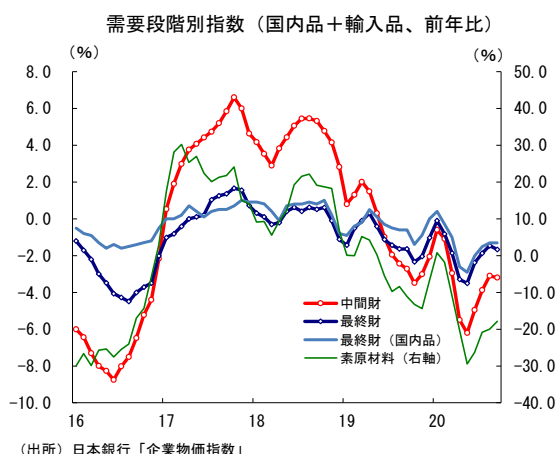
先行きについても、国内企業物価は横ばい圏での推移が続くと予想する。国内企業物価が影響を受けやすい商品市況は、原油価格（ドバイ）の持ち直しが頭打ちしており、高値圏で推移する銅価格についても上昇ペースが鈍化している。また、需給バランスの改善による国内企業物価の持ち直しも困難であることなどから、国内企業物価の順調な持ち直しは見込みがたい。国内企業物価は横ばい圏での推移となり、先行きは前年比▲2%台前半での推移が続くと予想する。



(出所)日本銀行「企業物価指数」



(出所)日本銀行「企業物価指数」



(出所)日本銀行「企業物価指数」



(出所)Bloomberg

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。